



お知らせ

5月の協議会別の総代会議はありません。
また、理事会以外の全ての会議を、5月は中止します。

組合員の作品

短歌

少年の想い出浮かぶ相撲とり行司つとめし十二の頃か

守口東支部 山城 久子

あじさいの小道を園児たて長に七色の傘廻してすすむ

門真中央支部 兵頭 克己

糖尿病と狭心症をもつ吾はコロナにかかれば死ぬやも知れぬ

守口さつき西支部 中山 惟行

救済の目線がどこかずれている首相の緊急事態宣言

ゆつゆつ支部 長 勝昭

自粛には休業補償無きという息子の声の荒げゆくなり

あいあい支部 長野 晃



【編集委員会から】

こんな時期だからこそ「けいはん医療生協ニュースずっと元気」を大いに活かしましよう

先月号に引き続きコロナ感染症問題を特集しました。

先の見えない自粛生活が続くなか、メディアに登場する「専門家」の見解は様々です。わたしたち、けいはん医療生協は、組合員と住民が正しい情報をおかいたたくようお

共有し、自らとまわりの人々の命を守るための行動をとれるように、紙面の充実に力をつくしていきます。

支部と担い手の方々にはご苦勞をおかけしますが、手配り中、気になる組合員さんに、可能な範囲でひと声をおかけいただくようお願いいたします。

創立30周年を迎えるにあたって

《第4回》介護保険制度発足と、守口市での事業開始(1997～2000年)

デイケア、訪問看護ステーション開始

みいデイケアに続き、みどり診療所も三階の本部機能を斜め向かいの木造家屋に移転。エレベーター設置や洋式トイレなどの改造など行い、1997年4月みどり診療所デイケアが、前後して、みい・みどり診療所で

イクア室・物療室・待合室などでボランティア活動をはじめ、その活動と精神は現在の「出あい・ふれあい・支えあいの会 あいちゃん」へと発展しています。

一方、開所当初よりす

らこそ、積み上げてきた運動で、守口市の支部・組合員も力を発揮。しかし、「守口市には診療所・事業所もないのに」

た運動で、守口市の支部・組合員も力を発揮。しかし、「守口市には診療所・事業所もないのに」

「保健・医療・福祉のネットワーク」づくり

「保健・医療・福祉のネットワーク」づくり

「保健・医療・福祉のネットワーク」づくり



今の「さつき事業所」開設直前の「さつき介護事業所」

「保健・医療・福祉のネットワーク」づくり

守口市での介護事業開始

5か年計画達成にむけ

5か年計画の中心課題、組合員倍加(3000→6000人)運動は、5458人の峰を築き、21世紀を迎えました。

特別顧問 小寺 正